

令和四年度 奈良県租税教育推進連絡協議会会長賞

奈良県における税収アップ法について

大淀町立大淀中学校 二年 河口 結

今、日本では人口が減少している。僕が暮らす奈良県では、大阪に近くて生活が便利な地域は人口が少し増えているが、全体で見ると、やはり減少傾向だ。人口が減ると、当然税収も減る。ではどうすれば人口を増やし、増えた人口を減らさないようにすることが出来るかについて考えてみた。

まずは人々が住みたくなるような、魅力的な町作りが大切だと考えた。例えば僕の住む地域はとても田舎で交通の便が悪い。だから車やバイクが必須だ。しかし免許や車のない学生や、運転に不安のある高齢者にとっては不便だ。しかし良いところもある。それは豊かな自然だ。山があり森があり、きれいな川がある。都会では味わえないスポーツや遊びや暮らしがある。そこで考えたのが過疎化の進む地域で空家を都会の人々に安く貸し出したり購入してもらって、移住してもらおう。若い家族でも家を持ちやすくなるし、そのような人々がたくさん来てくれると地域が、ぐんと活発になると思う。人が増えると、バスや電車の本数も増やすことが出来るかもしれないし、そうなると車を運転出来ない人達も動きやすくなる。町の活性化につながる。町が活性化すると、医療や福祉や教育、就職先なども充実し、さらに人口が増え、定住しやすくなる。

僕の父は大阪まで仕事に行っている。かつては祖父母の職場も大阪だった。奈良県民は大阪に働きに行く人がとても多い。奈良県の人々がもっと県内で仕事を持てば、これまた税収アップにつながるのではないだろうか。

過疎化の地域では、空家の他に、使われていない田畑（耕作放棄地）も多い。そのままにしておくのはもったいないが、高齢化する過疎地では仕方のないことだ。でも若い世代がもっと農業に興味を持ち、仕事としてそれらの田畑を利用して農業をすれば、就職、余った土地の利用、そして税収にもつながるひとつの方法ではないかと考えた。

また奈良県には豊かな自然以外に、歴史的に価値のある建物や古墳が数多く存在する。日本らしい情緒ある町並も多く、観光客も多い。奈良市のかき氷、吉野山のさくら、柿の葉ずし、天川村の川は最高にきれいし、明日香村の古墳やいたる所にある名高い寺院。あげるときりがない程、奈良県は魅力的だ。これらをもっともっとアピールして観光業を盛んにして、県内での仕事を増やしていけたら良いと思う。

あとはなんといっても、身近で簡単に出来る税収アップ法は、県内で買い物をすることだ。

今回、奈良県の税収を上げることについて考えて、人口や県内就職率の問題は全国の様々な地域にもあてはまると思った。そして改めて、奈良県の魅力にも気付くことが出来た。